

# 日興USグローイング・ベンチャーファンド

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第11期(決算日2025年9月10日)

作成対象期間(2024年9月11日～2025年9月10日)

第11期末(2025年9月10日)	
基準価額	32,884円
純資産総額	5,664百万円
第11期	
騰落率	47.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興USグローイング・ベンチャーファンド」は、2025年9月10日に第11期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<654353>

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

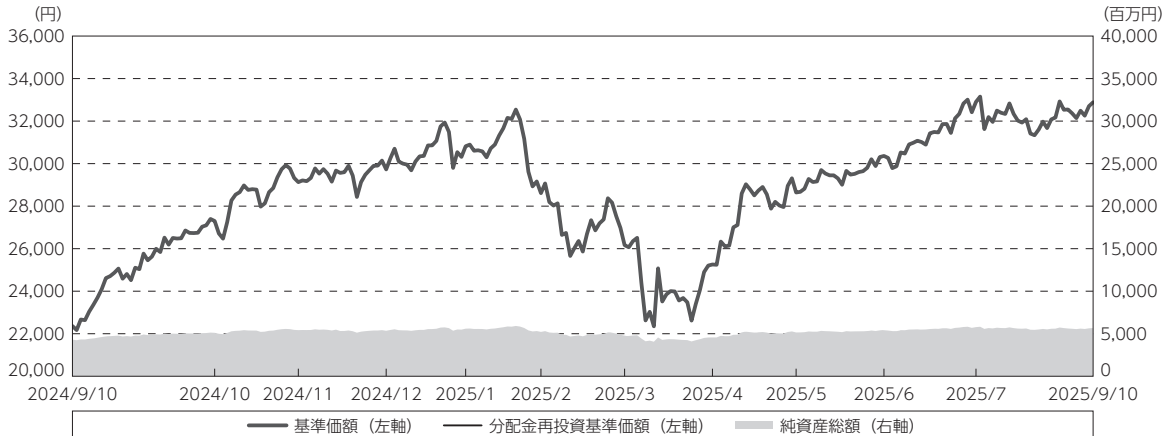
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2024年9月11日～2025年9月10日)



期 首：22,362円

期 末：32,884円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：47.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年9月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・米国の主力企業の業績が概ね良好に推移したこと。
- ・米国連邦準備制度理事会(FRB)の利下げや今後の利下げの可能性が出てきたこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・米国トランプ政権の関税政策の影響を受けて投資家心理が悪化したことに加えて、グローバルなサプライチェーン(供給網)を有する企業の業績影響が心配されたこと。
- ・中東を中心とした地政学的な緊張感の高まりによりエネルギー価格などが変動し、企業収益や投資家心理に悪影響を及ぼしたこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2024年9月11日～2025年9月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	546 (270) (254) ( 22)	1.892 (0.935) (0.880) (0.077)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 )	6 ( 6)	0.020 (0.020)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 )	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 等 )	15 ( 5) ( 1) ( 9)	0.050 (0.016) (0.004) (0.030)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	567	1.963	
期中の平均基準価額は、28,869円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

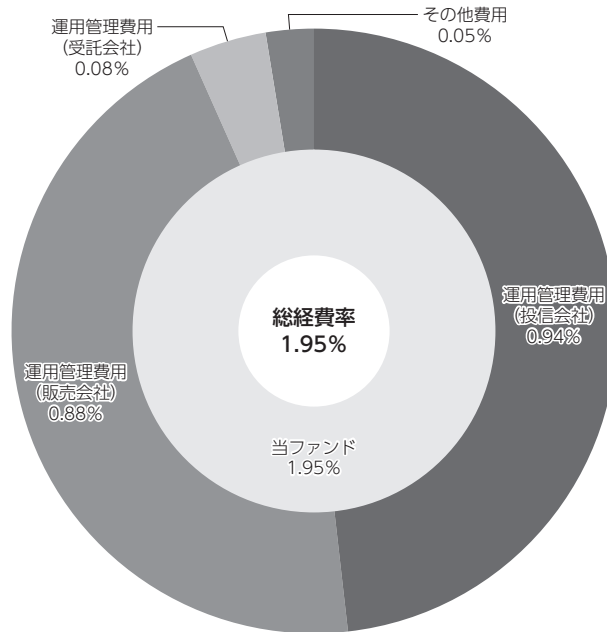
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年9月10日～2025年9月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2020年9月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年9月10日 決算日	2021年9月10日 決算日	2022年9月12日 決算日	2023年9月11日 決算日	2024年9月10日 決算日	2025年9月10日 決算日
基準価額 (円)	15,860	21,852	19,684	22,058	22,362	32,884
期間分配金合計(税込み) (円)	—	100	100	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	38.4	△ 9.5	12.1	1.4	47.1
純資産総額 (百万円)	5,969	7,405	5,874	5,642	4,300	5,664

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## (米国株式市況)

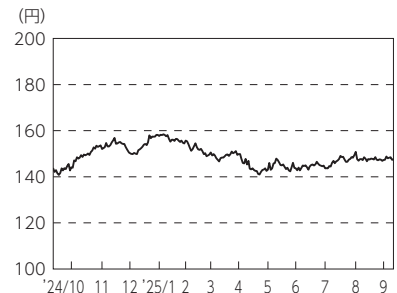
当期間の米国株式市場は、F R Bの金融政策、2025年新たに誕生したトランプ政権の動向などが市場動向を左右する展開となりました。期間の初めとなる2024年9月にF R Bがおよそ4年半ぶりとなる利下げを実施したことで、今後も利下げが続くとの見通しに加えて、それまでの景気悪化懸念から一転、米国景気がソフトランディングに向かうとの期待感から株式市場は上昇しました。その後、11月に行なわれた米国大統領選挙でトランプ氏が民主党候補に圧勝してからは、同氏が経済成長を促す政策を進め、米国企業の収益を押し上げるとの期待感から株式市場は上昇を続けました。12月に入ると、米国景気と金融政策の行方に再び注目が集まり、F R Bが三度目となる利下げを決定したものの、米国連邦公開市場委員会（F O M C）の政策金利見通しにおいて2025年の利下げ回数が減少したことで、株式市場は金利高止まりへの警戒感から下落しました。

2025年に入って第2次トランプ政権が発足し、トランプ米国大統領は様々な関税措置を講じましたが、4月発表の「相互関税導入」を受けて、貿易相手国が混乱し先行き不透明感が拡がり、株式市場は一時急落しました。特に中国と米国は互いの主張を譲らず、対立姿勢が強まりましたが、その後の交渉で中国を始め主要各国と融和的な姿勢が見られ始めたことが投資家心理の改善につながりました。また、米国の主力企業の2025年4－6月期の決算結果が概ね良好だったことも株式市場の追い風となりました。一方で、この間F R Bは、インフレ率の不確実性や、世界経済の減速並びに地政学的リスクに加え、関税政策による影響に対応するなか景気見通しが不透明であるとの認識のもと、政策金利を据え置きました。ただし、8月に開催された経済シンポジウムで講演したパウエルF R B議長が利下げを示唆したとの見方から、株式市場は期間末にかけても上昇しました。

## (為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## (当ファンド)

当ファンドは、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

## (USグローイング・ベンチャーマザーファンド)

当ファンドでは、引き続きボトムアップによる銘柄調査により、イノベーションによって飛躍的な成長が見込まれる企業に注目して運用を行ないました。

期間中、情報技術セクター、資本財・サービスセクター、一般消費財・サービスセクターなどの銘柄を中心に積極的に投資を行ないました。特に、株価上昇の余地が高いと判断した情報技術セクターなどの銘柄については積極的な姿勢で臨みました。一方で、金融やコミュニケーション・サービス、エネルギーなどのセクターについてはやや消極的な姿勢を維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年9月11日～2025年9月10日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

(2024年9月11日～2025年9月10日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第11期
	2024年9月11日～ 2025年9月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	22,883

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

### (USグローイング・ベンチャーマザーファンド)

米国経済は、やや減速感が見られるものの、底堅く推移しています。物価上昇率も足元でやや拡大したとはいえ、関税の影響はまだ明らかとはなっていないようです。相互関税については、依然として中国との協議が続いており、またいくつかの国との協議が合意に至ったとはいえ、必ずしも共同声明や合意文書がないうえ、双方の主張に齟齬が見られることもあり、不確実な状態が続いていると考えます。

今後も関税や財政悪化懸念によって、短期的に経済や企業収益にある程度の影響が及ぶことは避けられないと予想しています。一方で、AI（人工知能）を例に挙げれば、技術進化のスピードは力強く、むしろ早まっているとみています。こういった動きはまだ初期段階にあり、景気の波の影響を受けながらも中長期的に投資は増加傾向にあるとみており、これが他のセクターにも徐々に波及していくことが期待されます。また、利下げを行なうことが期待されているFRBの動向にも注目が集まっており、仮に予想通り利下げが実施されれば、株式市場を押し上げる要因となる可能性が高いと考えます。ただインフレ率は、依然としてFRBがめざす水準を上回っていることから、利下げの時期や回数については、依然として不透明な状況にあるとみています。

引き続き短期的に不安定な状況が続くことが想定されますが、個別銘柄ベースで魅力的な投資対象は存在し、アクティブ運用の利点を活かすことができると考えています。変化する市場センチメントに左右されることなく、企業のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）とバリュエーション（価値評価）を重視した銘柄選択の継続をめざします。

引き続きボトムアップによる銘柄調査により、イノベーションによって飛躍的な成長が見込まれると考える企業を中心に注目していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

2024年9月11日から2025年9月10日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第58条の2）

当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

- ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
- ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第58条）

## ＜運用報告書の電子交付に関するご案内＞

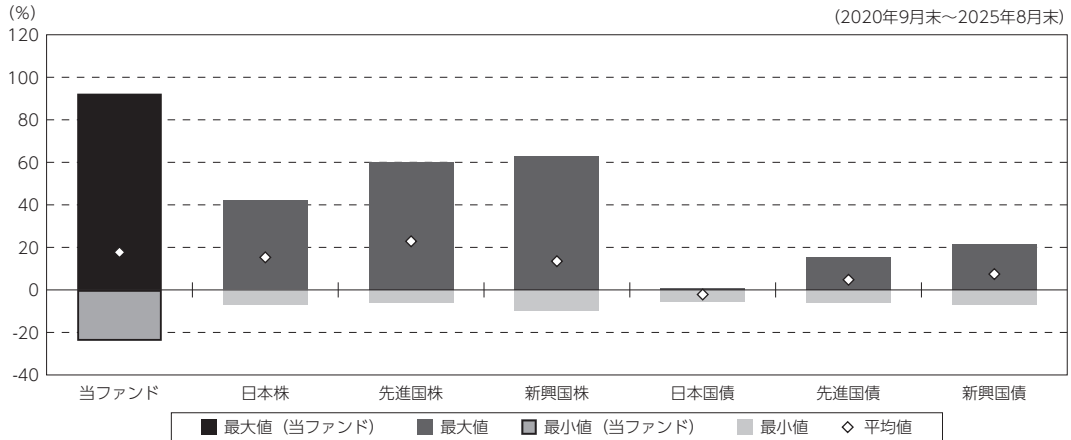
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正（施行：2025年4月）が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供に取り組んでまいります。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年10月1日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興USグローイング・ベンチャーファンド	「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	USグローイング・ベンチャーマザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	92.3	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 23.9	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	17.7	15.3	22.9	13.5	△ 2.2	4.8	7.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年9月から2025年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株: TOPIX (東証株価指数) 配当込み

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 指数について

●TOPIX (東証株価指数) 配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2025年9月10日現在)

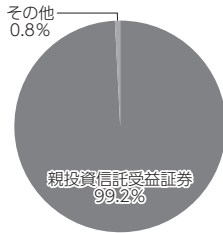
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第11期末
USグローイング・ベンチャーマザーファンド	99.2%
組入銘柄数	1銘柄

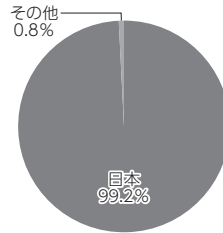
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

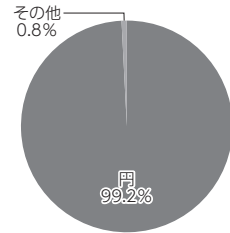
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第11期末
	2025年9月10日
純資産総額	5,664,683,594円
受益権総口数	1,722,634,890口
1万口当たり基準価額	32,884円

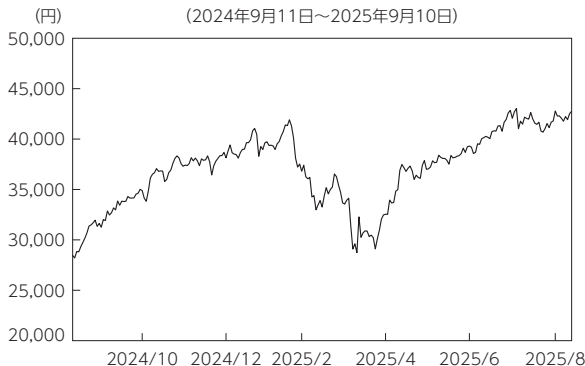
(注) 期中における追加設定元本額は121,876,615円、同解約元本額は322,446,164円です。

## 組入上位ファンドの概要

## USグローイング・ベンチャーマザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2024年9月11日～2025年9月10日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2024年9月11日～2025年9月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	8 ( 8 )	0.020 (0.020)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	6 ( 6 )	0.016 (0.016)
合 計	14	0.037

期中の平均基準価額は、37,177円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2025年9月10日現在)

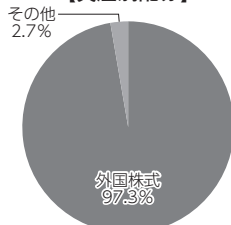
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
					%
1	APPROVIN CORP-CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	8.7
2	GE VERNOVA INC	資本財	アメリカドル	アメリカ	8.6
3	SNOWFLAKE INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	7.9
4	CONSTELLATION ENERGY	公益事業	アメリカドル	アメリカ	7.5
5	DOORDASH INC - A	消費者サービス	アメリカドル	アメリカ	6.9
6	AIRBNB INC-CLASS A	消費者サービス	アメリカドル	アメリカ	6.3
7	KENVUE INC	家庭用品・パーソナル用品	アメリカドル	アメリカ	5.1
8	ASTERA LABS INC	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	3.5
9	GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.9
10	VERALTO CORP	商業・専門サービス	アメリカドル	アメリカ	2.6
	組入銘柄数		39銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

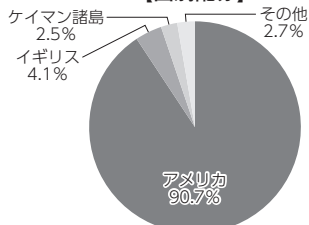
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

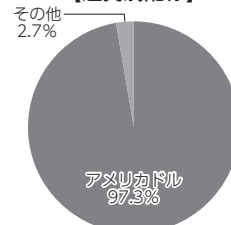
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。